

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 足助商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考								
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等						
巡回・窓口相談指導事業	一般的に経営基盤の脆弱な小規模零細企業の健全な経営改善と育成を図るため、経営指導員を中心に商工会全職員が個々の企業と積極的に接触して相談指導を行う。	巡回窓口指導実企業数 247社 巡回窓口指導延件数 590件 非会員巡回窓口指導実企業数 50件 非会員巡回窓口指導延企業数 57件 課題解決提案件数 28件 経済動向調査 30件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 118.0 %)			指標	課題解決提案件数 (達成度 140.0 %)			地区内小規模事業者の経営状況の把握と課題解決による信頼の構築	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	計画的地区別担当を割り当てた巡回指導を実施する。
				目標数値	500	実績数値	590	目標数値	20	実績数値	28					A			必要性		両方現状維持	
記帳継続指導事業	商工会会員である個人事業主を対象に行う。正しい簿記、確定申告の指導。適切な税務申告と経理の自計化による経営向上のお手伝い。	指導企業数 68件 指導日数 333日 指導回数 876回	商工会会員 (主に個人事業主)	指標	記帳指導対象事業者数 (達成度 111.5 %)			指標	(達成度 %)			記帳継続指導の充実を図るとともに、消費税軽減税率等の理解を得るため考慮しながら記帳指導を行った。	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	消費税に伴う記帳指導
				目標数値	61	実績数値	68	目標数値		実績数値						A			必要性		上げる	
講習会等開催事業	ニーズにあった講習会を効率的に実施することにより、小規模事業者にとって必要な知識の習得、資質の向上、円滑な事業の運営を図ることを目的とする。	個別講習会 金融 1回0名 税務 2回36名 集団講習会 経営革新 1回0名 税務 1回23名	地区内小規模事業者及び関係従業員	指標	講習会等参加人数 (達成度 69.4 %)			指標	(達成度 %)			小規模事業者及びその従業員の知識の習得、資質の向上。	総合評価	B	事業実施側の	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	会員のニーズに合わせて、多くの事業者に参加いただける講習会を検討する。
				目標数値	85	実績数値	59	目標数値		実績数値						B			必要性		現状維持	
若手後継者等育成事業（青年部・女性部）	商工業の後継者である青年・若手後継者及び商工業に携わる女性に対し、各種講習会・講演会や視察研修などを通じ部員の経営に必要な資質向上を図る。	青年部 講習会4回11名 視察研修1回7名 地域振興事業1回10名 女性部 講習会2回3名 視察研修会2回34名 地域振興事業1回9名 若手後継者事業セミナー 青年部3回26名 女性部3回34名 青年部全国大会 1回3名	商工会青年部、女性部もしくはその配偶者	指標	青年・女性部参加人数 (達成度 94.5 %)			指標	(達成度 %)			若手後継者に必要な経営等の知識の習得や資質の向上に役立てることができた。	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	若手後継者育成により努め、地元産業の一助とした。
				目標数値	145	実績数値	137	目標数値		実績数値						A			必要性		現状維持	
地域振興祭事業	お祭り、祭事等を実施することによりその集客力を活かして、地域経済活動を促進し地域産業のPR(地産地消、文化遺産、観光資源等)の機会とするとともに地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	あすけルネッサンス 5/3 5/4 5/5 30人 おいでん地区イベント 6/30 28人 あすけ夏まつり 8/5~8/13 46人 中馬のおひなさんなど他団体と連携巴川鮎まつり、香風溪もみじまつりの協賛	地区内事業者	指標	参加人数 (達成度 80.0 %)			指標	(達成度 %)			イベントを通じて地域への来場者の増加、商店街の賑わいの創出。	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	商店街を活性化させるイベントを創出する。
				目標数値	130	実績数値	104	目標数値		実績数値						A			必要性		現状維持	
商店街・街づくり事業	衰退し続けている地域唯一の足助中央商店街の活性化を図り往時の賑わい創出することを目的とする。	げんき商店街推進事業の活用 商業活性化交付金推進事業の活用 足助地区まちづくり会議への参加による指導 空き店舗の活用 1件	地区内事業者	指標	空き店舗の活用件数 (達成度 100.0 %)			指標	(達成度 %)			商店街への消費者の流入増加、商店街内の事業者の売上増加	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	チャレンジショップの事業化に向けた計画・地盤づくり。
				目標数値	1	実績数値	1	目標数値		実績数値						A			必要性		現状維持	
産業活性化事業	当地区の紅葉や町並み等の価値の高い地域資源を連携させて、観光産業の活性化を図り事業者の経営改善に取り組み、特産品の開発普及・PRなどを行い地場産業の育成を図るとともに、観光客に向けて魅力的な商品を開発・販売し観光産業の活性化を図る産業振興に取り組み観光客の増加による地域の活性化につなげる。	商品開発による販売会・展示会への参加 2回 とよたの特産品展 出店 1回 市等が行う商談会への参加回数 3回 商工あいち物産展等への参加回数 2回 ワールドカップラグビー開催中の特産品展 出店 3回 計11回 プレミアム付商品券の取り扱い利用店舗の拡充	地区内小規模事業者及び生産者	指標	販売会等の参加回数 (達成度 122.2 %)			指標	(達成度 %)			特産品の開発普及・PRなどを行うことにより、企業の実績及び地域産業の活性化に資することができた。	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	特産品展等の減少見込みのため目標を下げる、なお特産品の開発普及・PRなどについては継続。
				目標数値	9	実績数値	11	目標数値		実績数値						A			必要性		下げる	
情報化推進事業	情報力不足な地区内小規模零細事業者の情報力を高め、販売促進、売上拡大、新規顧客獲得を図る。	ホームページ記載事業所 29件（年間通じて）	小規模事業者及び中小企業者	指標	ホームページ記載事業所数 (達成度 82.9 %)			指標	(達成度 %)			地区内事業者のPR等の情報発信力の向上。スマートフォンの対応で認知度の向上。SNSの活用で認知度の向上。	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	若手後継者（青年部・女性部）に更新をお願いし、地域の情報発信を図りたい。
				目標数値	35	実績数値	29	目標数値		実績数値						A			必要性		現状維持	
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営、雇用の持続的な安定を図るために各種共済の普及や企業の健全な育成に資することを目的とする。	小規模企業共済 68件 中小企業共済 230件 特定退職金共済 142件	商工会会員とその従業員	指標	各種共済加入者数 (達成度 88.0 %)			指標	(達成度 %)			共済制度の普及と各企業の健全な育成に努めた。	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	共済加入者の健康診断の補助事業のPRを行い、役員にも協力依頼して加入促進を図る。
				目標数値	500	実績数値	440	目標数値		実績数値						A			必要性		下げる	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

